

平成25年度部局運営方針（監査事務局）

1 部局の方針

(1) 基本方針

公正で合理的かつ効率的な行政運営確保に資し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与することが監査委員の使命であり、事務局は、監査等に係る資料収集、予備監査の実施、監査の記録、結果報告の作成、市民への公表及び措置状況の確認等の一連の監査手続を効率的かつ効果的に処理することにより、監査委員の事務補助としての役割を果たす。

(2) 現状、課題(特に重要な課題を明確にしてください)

現状

長引く経済情勢の低迷、少子高齢化の進展、環境問題への対応などから、市の財政状況は厳しさを増し、様々な行政課題に対し重点的で効率的な市政運営に市民の関心が高まってきている。このような状況の中で、監査委員は独立の執行機関として、公正で効率的な行財政運営を確保し、行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期することを責務としており、その役割はますます重要性を増してきている。

課題

- ア 事務局職員数の増員が困難な状況に対応できる監査手法等の検討、見直し
- イ 従来の事務事業の合规性、経済性中心の監査から、効率性や有効性の観点を加味した監査の実施に向けた検討
- ウ 指摘事項等についての事後確認を徹底することによる監査等の実効性の確保
- エ 監査情報等を分かりやすく、かつ、速やかに発信することによる、透明性の確保

(3) 目指す方向、重点目標

- ア より重点的、効果的な監査の実施
- イ 合规性、経済性中心の監査から、効率性、有効性の視点を入れた監査の実施
- ウ フォローアップによる監査の実効性の確保
- エ 市民に対する説明責任

(4) 施策、目標達成の取り組み(施策の優先順に記入してください)

- ア より効率的で効果的な監査等の実施に向けて、監査の手法・着眼点・項目等について、先進市事例等を参考に、常に見直しを行っていく。
- イ 事務事業の合规性はもとより、支出した費用に見合う効果をあげているかという効率性の視点や所期の目的を達成しているかなどの有効性の視点からの検証を行うための着眼点、分析方法等の検討を進める。
- ウ 監査の実効性を確保するため、監査結果に対する改善等の措置状況のフォローアップを継続的に行う。
- エ 監査等の結果報告書等について、その内容、根拠、求める措置等について、できる限り平易な表現を用いて、より分かりやすく情報を提供することによって、市民に対する説明責任を果たし、同時に市の内部統制の充実に資する。

(5) 平成25年度の取組み

	施策	取組み, 事業, 目標等
ア	監査手法等の再検討 (目標値) —	<ul style="list-style-type: none">・監査の手法・着眼点・項目等について, 監査委員の意見や前年度までの反省点等を踏まえて再検討する。・先進市の状況を照会, 視察するなどにより, 新たな角度から従前の方法を検討, 課題を発掘し, 改善につなげる。・財務会計オンライン・契約システムの効果的な活用方法を再検討する。
イ	効率性, 有効性の視点からの検証方法等の検討 (目標値) —	<ul style="list-style-type: none">・先進市の実施事例の収集, 参考文献等の検索, また, 必要があれば先進市等を訪問して直接担当者から話を聞くなどにより, 具体的な検証方法等を検討する。
ウ	措置状況のフォローアップ (目標値) 報告率 100%	<ul style="list-style-type: none">・監査結果報告書に記載した指摘事項について, 報告後2か月経過した時点で担当部署が積極的に改善策を講じたかどうかの報告を求める。・追跡調査の結果, 未だ改善に至っていない事案については, 数か月後に再度文書により報告を求める。・それでも改善に至らない場合には, その後に実施する決算審査や次年度の定期監査時に再度監査委員が確認できるような方法を確立する。
エ	監査結果報告書等の内容及び公表について (目標値) —	<ul style="list-style-type: none">・監査等の指摘事項の原案作成に当たっては, 各監査委員の意見を可能な限り反映させるよう, 質疑内容等の的確な把握に努める。・監査結果報告書に記載する指摘事項等は, その内容, 根拠, 求める措置等について, できる限り平易な表現を用い, 予備知識のない一般市民にも分かりやすい表記に努める。・決算審査意見書については, 図表やグラフを用いるなど, 分かりやすくするとともに, 監査委員の意見が明確となるよう, 引き続き改善を図っていく。・市長等に提出する監査結果報告書等及び市長等から提出された措置結果報告書は, 原則として告示と同時に市ホームページに掲載及び行政資料室への配架など, 速やかに情報提供を行う。

(6) 経費縮減, 財源確保の取組み

平成25年度の取組み

①引き続きコピー用紙の節約, ファイルの再利用等経費節減に取り組む。

中期的な取組み

①全部局に対して, 重点的で実効性のある監査を継続実施していくことにより, 全庁的な財務事務の適正化はもとより, 経費縮減, 財源確保へ向けた取組みの促進に寄与する。

2 予算要求

(1) 要求額（一般会計）

単位：千円，%

	歳入		歳出	
	金額	増減率	金額	増減率
平成24年度当初予算	0	—	4,132	—
平成25年度要求	0	—	4,203	1.7

※歳入，歳出の差は市税等一般財源を充当します。

(2) 前年度との比較（相違，工夫，主な増減理由等 1の(6)と重複可）

1 歳入 該当なし
2 歳出 主な理由 会議・研修等の開催予定地が前年度より遠方であるため，旅費が増額となった。